

交通安全のために

～平成29年中の交通事故から～

交通死亡事故抑止ための
重点4 Sプラスワン対策

重点4 S 対策

Silver

高齢者の交通事故防止



Seatbelt

シートベルト着用促進対策



Sake

飲酒運転根絶対策



Speed

速度抑制対策



歩行者の交通事故防止対策

歩行者にやさしい三重づくり作戦



交通安全“見える・見せる”キャンペーン



三重県警察本部



はじめに

平成29年中における全国の交通事故死者数は3,694人(前年比マイナス210人)で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となりました。

また、三重県内においても、交通事故死者数は86人で前年と比べ14人減少し、三重県警察が設置された昭和29年以降過去最少となり、人身事故件数は13年連続、負傷者数は12年連続で減少しました。

しかしながら、交通事故死者に占める高齢者や交通弱者(歩行中・自転車乗用中)の占める割合が高い水準にあるなど、依然として厳しい交通情勢にあります。

本資料は、三重県の厳しい交通情勢をご紹介することにより、皆様がそれぞれの立場で交通事故防止について考え、交通ルールを遵守することの大切さを再認識していただくための資料として作成したものです。

一人でも多くの方が、思いやりとゆとりを持って、安全な交通行動を実践していただければ、交通事故は確実に減少します。

悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、本資料を効果的にご活用いただきますようお願い申し上げます。

平成30年3月

三重県警察本部

目 次

第1	都道府県別交通事故発生状況	1
第2	交通情勢からみた三重県の位置	2
第3	三重県の交通事故発生状況	3～16
1	交通事故発生状況	3
2	過去10年の年別推移	3
3	市町別	4・5
4	月別	6
5	曜日別	6
6	時間別	7
7	路線別	7
8	地形・道路形状・道路線形別	8
9	事故類型別	9
10	第1当事者の年齢層別	10
11	第1当事者の事故原因別	11
12	第1当事者の職業別	12
13	死傷者の年齢層別	13
14	死傷者の状態別	14
15	シートベルトの着用状況	15
16	ヘルメットの着用状況	16
第4	各種の交通事故	17～25
1	子供の交通事故	17
2	高校生の交通事故	18
3	高齢者の交通事故	
(1)	全体	19
(2)	高齢運転者	20
4	歩行者の交通事故	21
5	自転車の交通事故	22
6	二輪車の交通事故	23
7	若年運転者の交通事故	24
8	飲酒運転の交通事故	25

● 用語の意味 ●

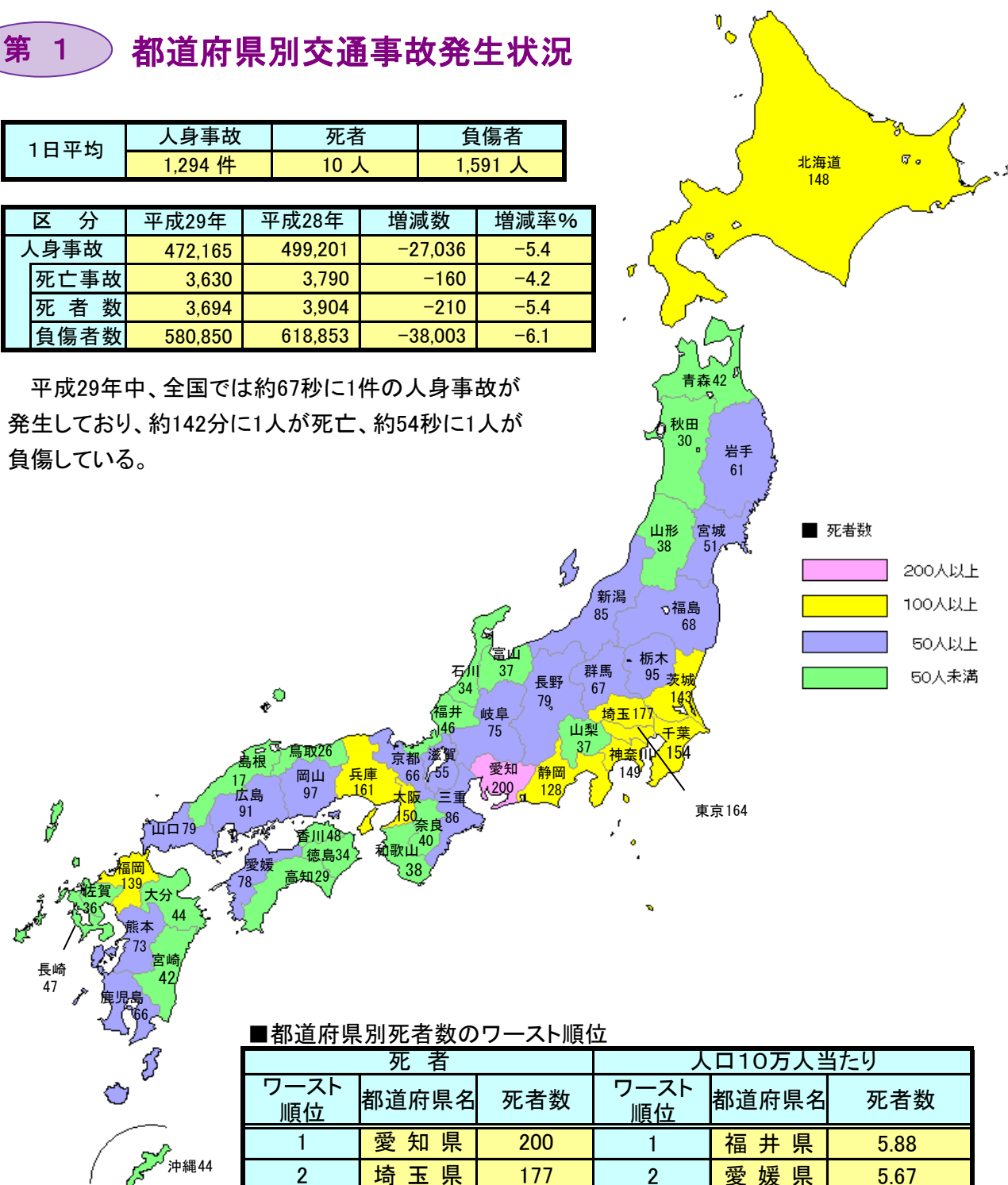
- ★ 交通事故 …… 道路上において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡または負傷を伴うもの（人身事故）及び物損事故をいう。
- ★ 人身事故 …… 人の死傷を伴う交通事故をいう。
- ★ 物損事故 …… 物の損壊のみの交通事故をいう。
- ★ 死亡事故 …… 人身事故のうち、人の死亡を伴う交通事故をいう。
- ★ 死者 …… 交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。
- ★ 第1当事者 …… 交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。
- ★ 構成率 …… 全体(合計)に占める各項目の構成割合をいい、四捨五入してあるので合計と一致しないものもある。
- ★ 致死率 …… $\frac{\text{死者数}}{\text{全死傷者数}} \times 100$ をいう。
- ★ 死傷者率 …… 全死傷者数に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の死傷者数の構成割合をいう。
- ★ 事故率 …… 全事故に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の構成割合をいう。
- ★ 事故類型 …… 事故をまず当事者の種類(人又は車両)によって類型化し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したもの。
- ★ 状態別 …… 事故当事者の事故当時の状態(自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等)をいう。
- ★ 車両等 …… 自動車、二輪車(原付車を含む)、自転車をいう。

第 1 都道府県別交通事故発生状況

1日平均	人身事故	死者	負傷者
	1,294 件	10 人	1,591 人

区 分	平成29年	平成28年	増減数	増減率%
人身事故	472,165	499,201	-27,036	-5.4
死亡事故	3,630	3,790	-160	-4.2
死 者 数	3,694	3,904	-210	-5.4
負傷者数	580,850	618,853	-38,003	-6.1

平成29年中、全国では約67秒に1件の人身事故が発生しており、約142分に1人が死亡、約54秒に1人が負傷している。



■ 都道府県別死者数のワースト順位

死 者			人口10万人当たり		
ワースト順位	都道府県名	死者数	ワースト順位	都道府県名	死者数
1	愛 知 県	200	1	福 井 県	5.88
2	埼 玉 県	177	2	愛 媛 県	5.67
3	東 京 都	164	3	山 口 県	5.67
4	兵 庫 県	161	4	岡 山 県	5.07
5	千 葉 県	154	5	香 川 県	4.94
6	大 阪 府	150	6	茨 城 県	4.92
7	神 奈 川 県	149	7	栃 木 県	4.83
8	北 海 道	148	8	岩 手 県	4.81
9	茨 城 県	143	9	三 重 県	4.76
10	福 岡 県	139	10	鳥 取 県	4.56
15	三 重 県	86	9	三 重 県	4.76

※人口10万人当たりの死者数は、総務省資料「平成28年10月1日現在推計人口」を使用

第 2 交通情勢から見た三重県の位置

区 分		三 重 県		全 国	備考 (年月日)
			順位		
人 口 (人)		1,808,000	22	126,933,000	平28.10.1
面 積 (km ²)		5,774.41	25	377,973.89	平29.10.1
道路実延長 (km)		25,337.7	21	1,222,318.6	平28.4.1
免 許	人 口 (人)	1,263,183	22	82,255,195	平29.12.31
	保 有 率 (%)	69.87	9	64.80	
	県民1. 43人に1人の割合		国民1. 54人に1人の割合		
自 動 車	台 数(原付・小特除く) (台)	1,521,478	21	81,878,816	平29.10.31
	保 有 率 (%) (自 動 車 1 台 当 た り)	84.15 (1.19人)	11	64.51 (1.55人)	
原 付	台 数(1・2種) (台)	118,284	20	7,616,368	平28.4.1
	保 有 率 (%) (原 付 車 1 台 当 た り)	6.54 (15.29人)	20	6.00 (16.67人)	
交 通 事 故	人 身 事 故 件 数	5,441	26	472,165	平29年中 (ワースト順位)
	人口10万人当たり	300.94	29	371.98	
	死 者 数	86	15	3,694	
	人口10万人当たり	4.76	9	2.91	
	免許人口1万人当たり	0.68	8	0.45	
	自動車1万台当たり (原 付 含 む)	0.51	7	0.40	
	道路1000km当たり	3.39	18	3.02	
	1億走行台キロ当たり	0.83	16	0.78	
	致 死 率	1.19	10	0.63	
備 考	・ 人口は、総務省資料の「平成28年10月1日現在推計人口」による。 ・ 面積は、国土地理院資料による。 ・ 道路実延長、自動車台数及び原付台数は、国土交通省資料による。 ・ 免許人口、交通事故(人身事故件数、死者数)及び1億走行台キロは、警察庁資料による。 ・ 人口10万人当たりの算出根拠は、総務省資料の「平成27年国勢調査」による人口である。 ・ 致死率は、死者数÷死傷者数×100をいう。				

第 3 三重県の交通事故発生状況

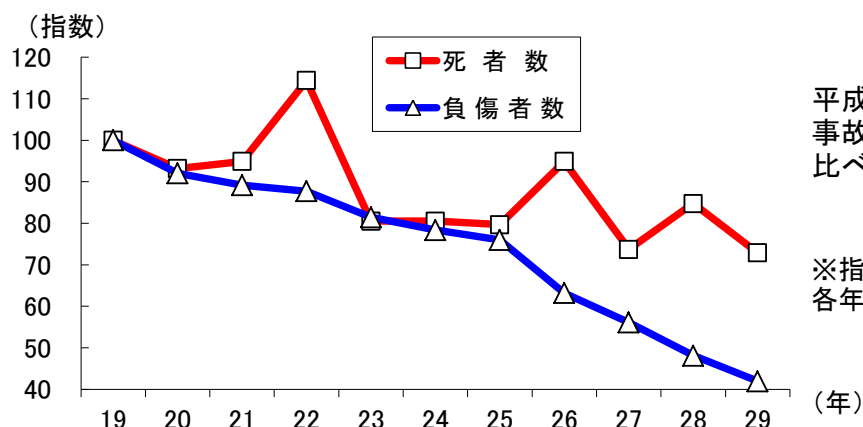
1 交通事故発生状況

区 分	人身事故	死者	負傷者
1 日 平 均	14.9 件	0.2 人	19.5 人

区分	平成29年	平成28年	増減数	増減率%
人 身 事 故	5,441	6,038	-597	-9.9
死亡事故	83	98	-15	-15.3
死者数	86	100	-14	-14.0
負傷者数	7,113	8,158	-1,045	-12.8
物 損 事 故	56,464	54,994	1,470	2.7

平成29年中、三重県では、97分に1件の人身事故が発生しており、4日に1人が死亡、74分に1人が負傷している。

2 過去10年の年別推移



平成29年中の三重県内における交通事故死者数は、10年前の平成19年と比べると約30%減少した。

※指数は、平成19年を100とした場合の各年の値である。

項目 年	人 身 事 故						物 損 事 故	
	発生件数	指数	死者数	指数	負傷者数	指数		指数
平成 19 年	12,790	100	118	100	16,957	100	49,984	100
20 年	11,886	93	110	93	15,608	92	49,907	100
21 年	11,372	89	112	95	15,126	89	49,027	98
22 年	11,275	88	135	114	14,878	88	51,730	103
23 年	10,420	81	95	81	13,813	81	52,016	104
24 年	10,155	79	95	81	13,287	78	53,487	107
25 年	9,804	77	94	80	12,885	76	54,902	110
26 年	8,100	63	112	95	10,717	63	54,342	109
27 年	7,169	56	87	74	9,517	56	54,505	109
28 年	6,038	47	100	85	8,158	48	54,994	110
29 年	5,441	43	86	73	7,113	42	56,464	113
20～29年平均	9,166	—	103	—	12,110	—	53,137	—

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最高を記録した年の発生状況

昭和46年	9,495	—	352	—	13,243	—	10,293	—
-------	-------	---	-----	---	--------	---	--------	---

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最低を記録した年の発生状況

平成29年	5,441	—	86	—	7,113	—	56,464	—
-------	-------	---	----	---	-------	---	--------	---

3 市町別

人口10万人以上の6市(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市)で、人身事故の約72%(3,925件)を占めている。

●最多……四日市市 1,166件(21.4%)

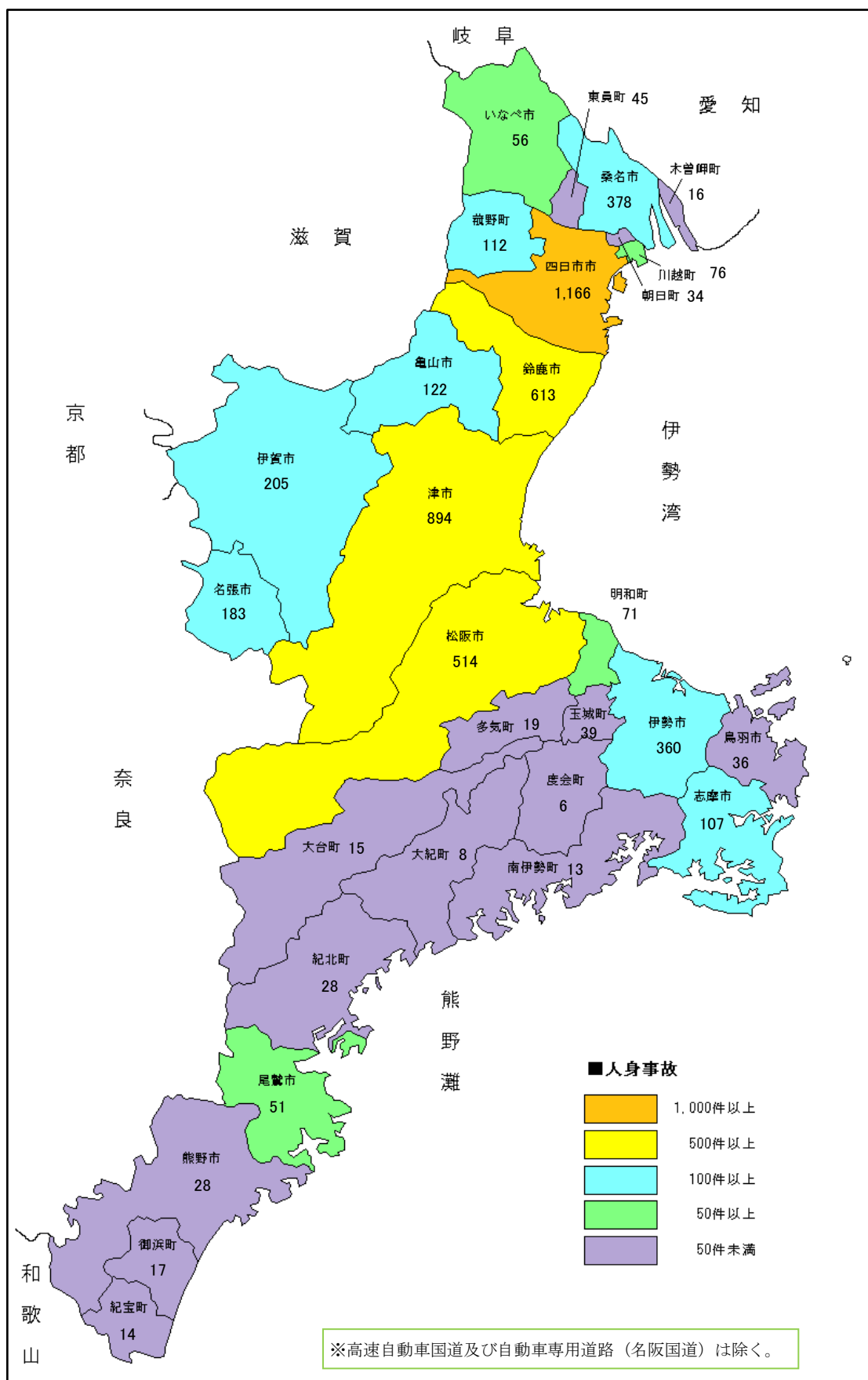
●最少……度会町 6件(0.1%)

署	市 町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
桑名	桑 名 市	378	5	471
	木 曽 岬 町	16	1	24
いなべ	い な べ 市	56	5	73
	東 員 町	45	1	60
四日市北	四 日 市 市	359	2	472
	朝 日 町	34	0	48
	川 越 町	76	1	98
四日市南	四 日 市 市	738	4	897
四日市西	四 日 市 市	69	0	92
	菰 野 町	112	1	142
(四 日 市 市 計)		1,166	6	1,461
亀山	亀 山 市	122	1	166
鈴鹿	鈴 鹿 市	613	9	811
津	津 市	599	4	773
津南	津 市	295	5	376
(津 市 計)		894	9	1,149
松阪	松 阪 市	514	9	637
	多 気 町	19	1	27
	明 和 町	71	1	100

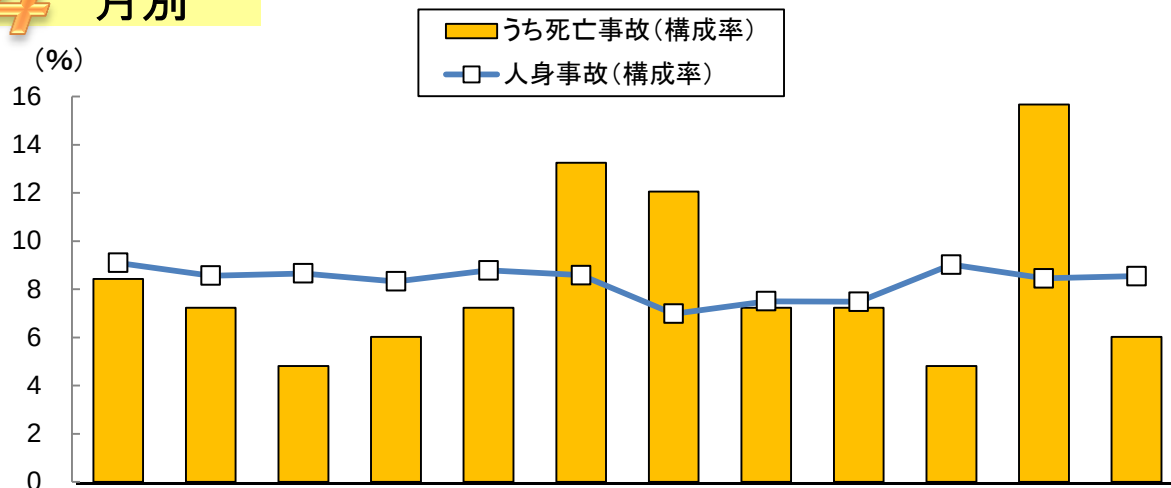
署	市 町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
大台	大 台 町	15	0	19
	大 紀 町	8	0	14
伊勢	伊 勢 市	360	2	456
	玉 城 町	39	0	57
	度 会 町	6	1	7
	南 伊 勢 町	13	1	20
鳥羽	鳥 羽 市	36	3	57
	志 摩 市	107	5	131
尾鷲	尾 鷲 市	51	1	60
	紀 北 町	28	0	38
熊野	熊 野 市	26	0	35
紀宝	熊 野 市	2	0	2
	御 浜 町	17	1	21
	紀 宝 町	14	0	20
(熊 野 市 計)		28	0	37
伊賀	伊 賀 市	183	7	217
名張	名 張 市	183	3	222
	伊 賀 市	22	2	31
(伊 賀 市 計)		205	9	248

高 速 隊	215	10	439
-------	-----	----	-----

合 計	5,441	86	7,113
-----	-------	----	-------

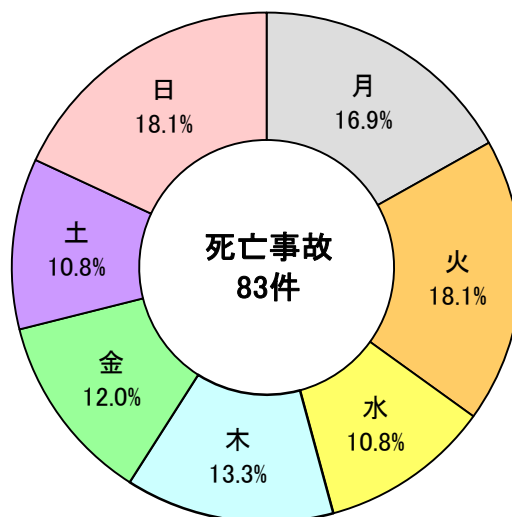
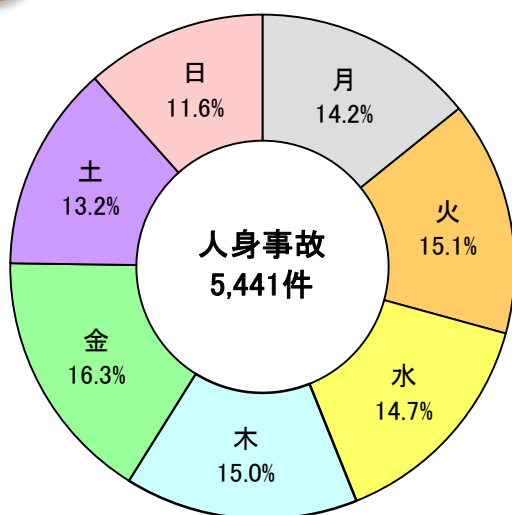


4 月別



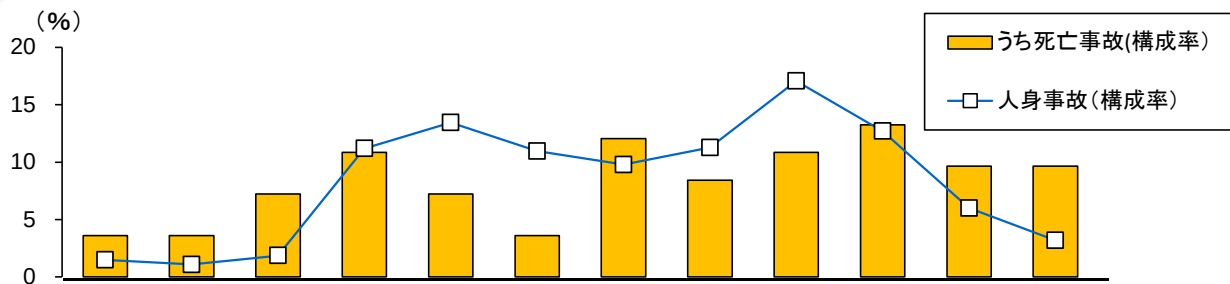
項目 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人身事故(件)	495	466	471	453	478	467	380	408	407	491	460	465	5,441
構成率	9.1	8.6	8.7	8.3	8.8	8.6	7.0	7.5	7.5	9.0	8.5	8.5	100.0
うち死亡事故(件)	7	6	4	5	6	11	10	6	6	4	13	5	83
構成率	8.4	7.2	4.8	6.0	7.2	13.3	12.0	7.2	7.2	4.8	15.7	6.0	100.0

5 曜日別



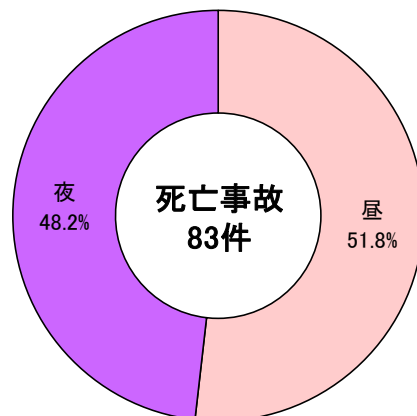
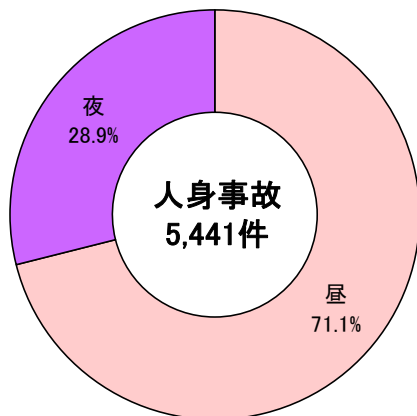
項目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
人身事故(件)	773	819	798	814	889	718	630	5,441
構成率	14.2	15.1	14.7	15.0	16.3	13.2	11.6	100.0
うち死亡事故(件)	14	15	9	11	10	9	15	83
構成率	16.9	18.1	10.8	13.3	12.0	10.8	18.1	100.0

6 時間別



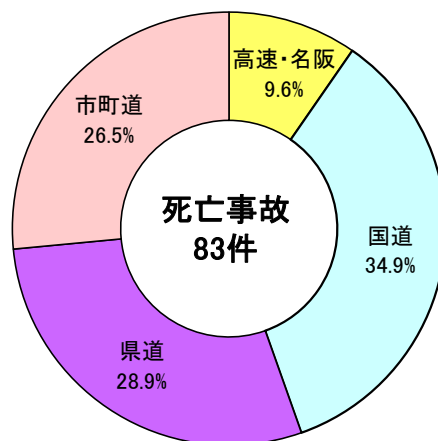
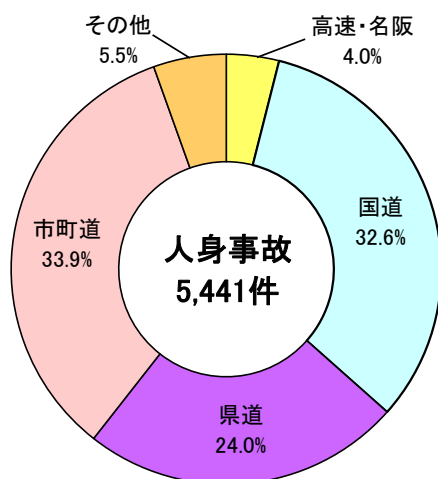
項目 \ 時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
人身事故(件)	81	59	101	609	731	596	532	613	929	691	326	173	5,441
構成率	1.5	1.1	1.9	11.2	13.4	11.0	9.8	11.3	17.1	12.7	6.0	3.2	100.0
うち死亡事故(件)	3	3	6	9	6	3	10	7	9	11	8	8	83
構成率	3.6	3.6	7.2	10.8	7.2	3.6	12.0	8.4	10.8	13.3	9.6	9.6	100.0

☆昼夜別



※昼は日の出から日没までをいう。

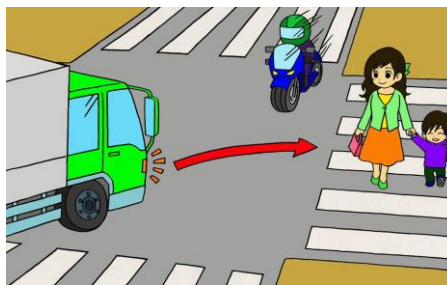
7 路線別



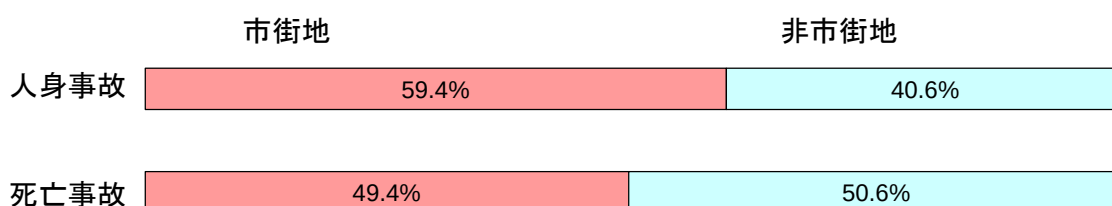
項目 \ 路線	高速	名阪	国 道					県 道			市道	町道	その他	合計
			1号	23号	42号	他	小計	主要	一般	小計				
人身事故(件)	175	40	270	721	215	568	1,774	702	605	1,307	1,710	137	298	5,441
構成率	3.2	0.7	5.0	13.3	4.0	10.4	32.6	12.9	11.1	24.0	31.4	2.5	5.5	100.0
うち死亡事故(件)	6	2	4	4	6	15	29	13	11	24	20	2	0	83
構成率	7.2	2.4	4.8	4.8	7.2	18.1	34.9	15.7	13.3	28.9	24.1	2.4	0.0	100.0

8 地形・道路形状・道路線形別

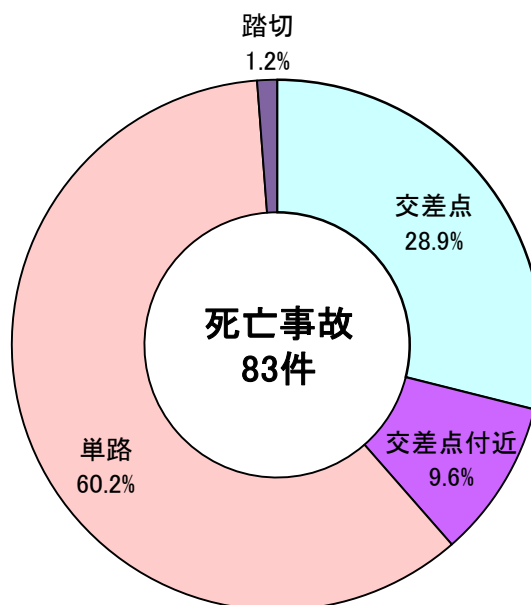
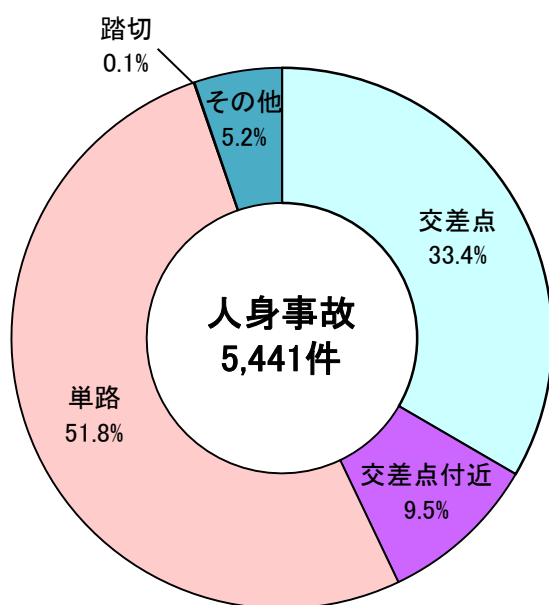
人身事故は市街地で多く発生しており、人身事故の約43%、死亡事故の約39%は交差点や交差点付近で発生している。



●交差点では、信号や一時停止規制を守り、左右の安全を確認しましょう。特に 歩行者や自転車の横断に注意しましょう。



※市街地とは、建造物が連立し、またはこれらが混在しており、市街地的形態をなしている地域をいう。



☆道路形状別

区 分	交差点	交差点付近	単路	踏切	その他	合計
人身事故(件)	1,817	518	2,818	3	285	5,441
構成率	33.4	9.5	51.8	0.1	5.2	100.0
うち死亡事故(件)	24	8	50	1	0	83
構成率	28.9	9.6	60.2	1.2	0.0	100.0

☆道路線形別

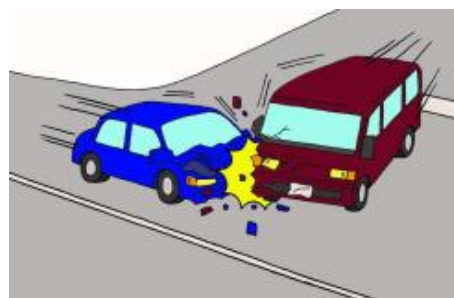
区 分	カーブ・右	カーブ・左	直線	その他	合計
人身事故(件)	117	141	4,898	285	5,441
構成率	2.2	2.6	90.0	5.2	100.0
うち死亡事故(件)	3	13	67	0	83
構成率	3.6	15.7	80.7	0.0	100.0

9

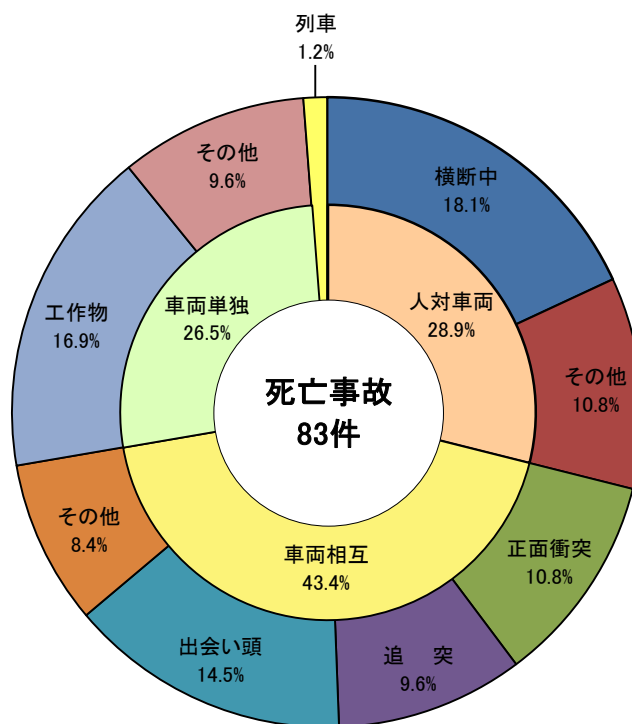
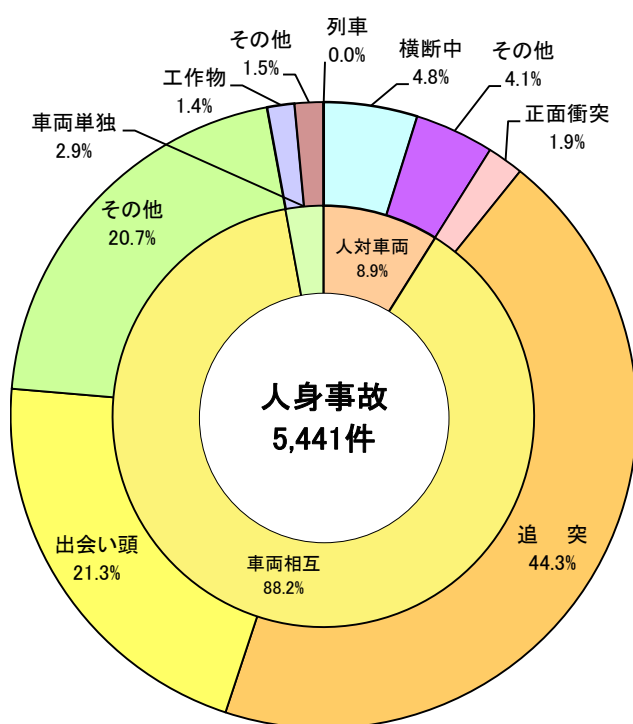
事故類型別

人身事故は、車両相互による追突や出会い頭事故が多く発生している。

死亡事故は、歩行者の横断中事故や車両相互による出会い頭事故が多く発生している。



- 追突事故は、緊張感欠如がもたらす最たる事故です。緊張感を持って、前方をよく見て、安全な速度で運転しましょう。携帯電話等のながら運転は危険です。



区 分	人対車両					車両相互					車両単独				列 車	合 計
	対・背面通行	横断中		そ の 他	小 計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	そ の 他	小 計	工 作 物	路 外 逸 脱	そ の 他	小 計		
		横断歩道	その他													
人身事故(件)	83	139	124	139	485	102	2,410	1,157	1,129	4,798	77	9	71	157	1	5,441
構成率	1.5	2.6	2.3	2.6	8.9	1.9	44.3	21.3	20.7	88.2	1.4	0.2	1.3	2.9	0.0	100.0
うち死亡事故(件)	6	5	10	3	24	9	8	12	7	36	14	3	5	22	1	83
構成率	7.2	6.0	12.0	3.6	28.9	10.8	9.6	14.5	8.4	43.4	16.9	3.6	6.0	26.5	1.2	100.0

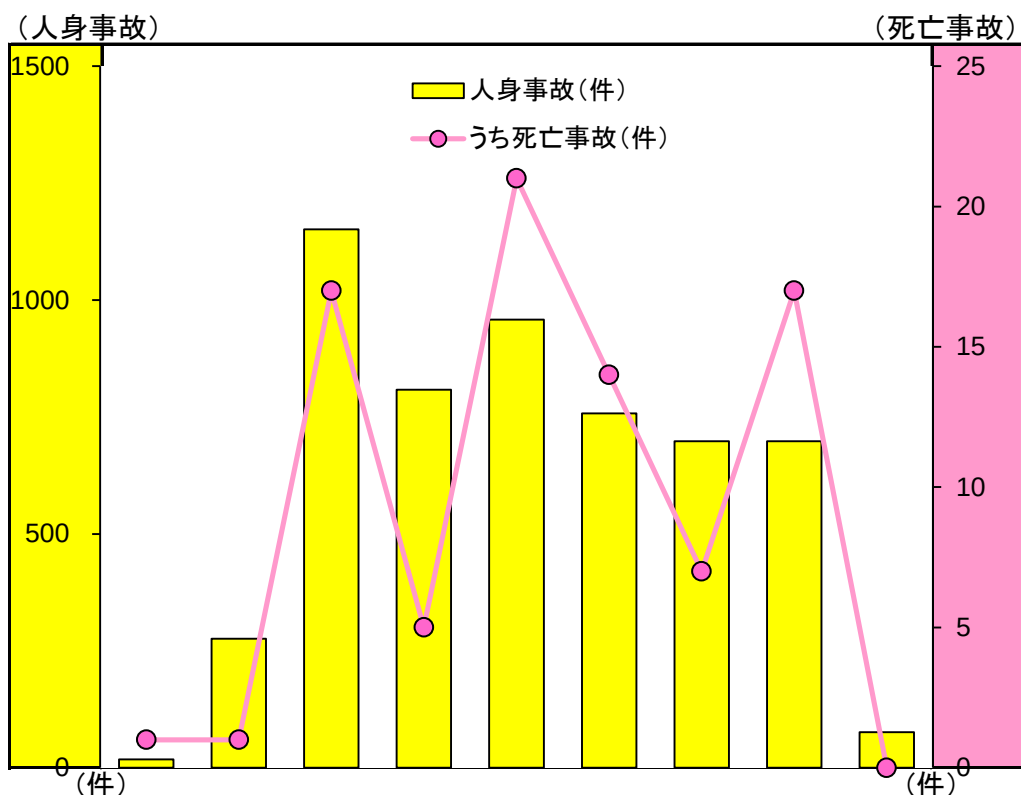
10

第1当事者の年齢層別

人身事故は20～29歳、死亡事故は40～49歳以上が最も多い。

第1当事者が高齢者である死亡事故が、全死亡事故の約24%を占めている。

- 道路を利用する全ての人が交通ルールを守り、お互いに注意して、交通事故を起こさないようにしましょう。



区 分	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明	合計	再掲			
											子供 (中学生以下)	高校生	若年者 (16歳～24歳 高校生含む)	高齢者 (65歳以上)
人身事故(件)	18	276	1,151	808	958	758	698	698	76	5,441	54	38	892	1,088
構成率%	0.3	5.1	21.2	14.9	17.6	13.9	12.8	12.8	1.4	100.0	1.0	0.7	16.4	20.0
うち死亡事故(件)	1	1	17	5	21	14	7	17	0	83	1	1	9	20
構成率%	1.2	1.2	20.5	6.0	25.3	16.9	8.4	20.5	0.0	100.0	1.2	1.2	10.8	24.1

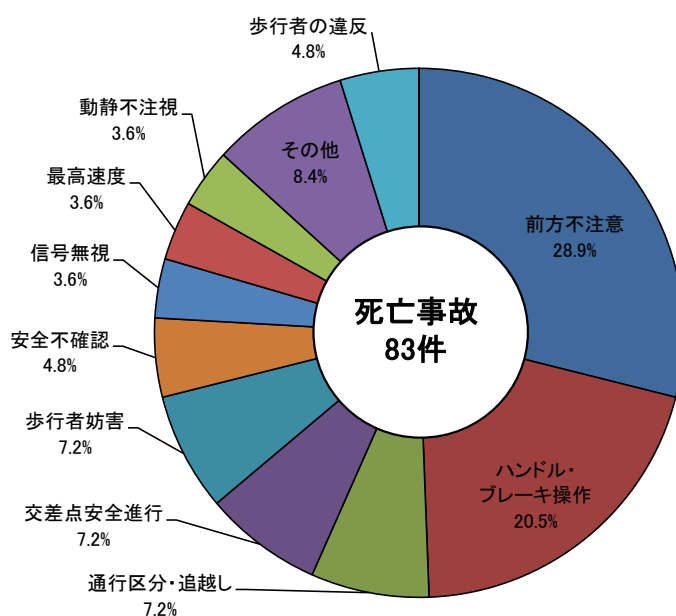
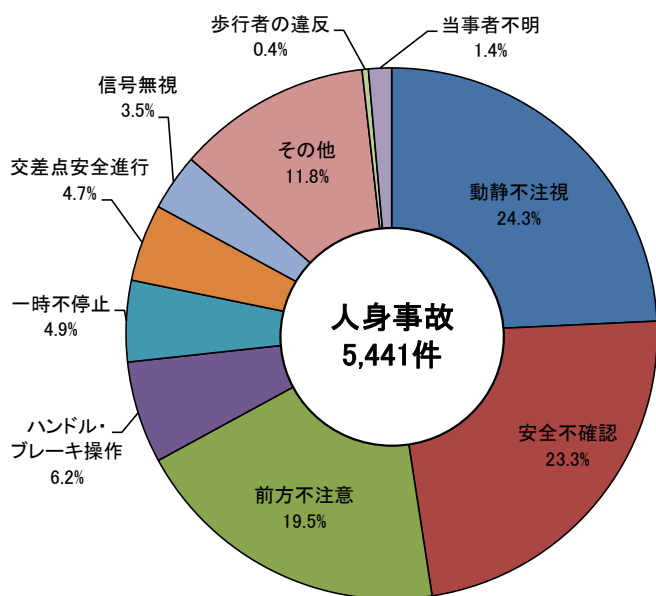
11

第1当事者の事故原因別

人身事故は、動静不注視、安全不確認、前方不注意による事故が全人身事故の約67%を占めている。

死亡事故は、前方不注意、ハンドル・ブレーキ操作不適による事故が全死亡事故の約50%を占めている。

- 運転中は、脇見や携帯電話等のながら運転をせず、運転に集中し、常に進路前方や周囲の状況を確認しましょう。
- 自転車や歩行者は、車の動きに注意し、無理な横断などは絶対に避けましょう。



区 分	車両等の違反																	歩行者の違反	当事者不明	合 計	うち無免許	
	信号無視	通行区分・追越し	最高速度	歩行者妨害等	一時不停止	酒 酔	右・左折	優先通行妨害	交差点安全進行	徐行場所	安全運転義務					その他	調査不能					小計
											ブレーキ操作・ハンドル・	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他							
人身事故(件)	188	42	4	163	269	0	19	69	256	44	338	1,061	1,320	1,268	277	21	5	5,344	21	76	5,441	27
構 成 率	3.5	0.8	0.1	3.0	4.9	0.0	0.3	1.3	4.7	0.8	6.2	19.5	24.3	23.3	5.1	0.4	0.1	98.2	0.4	1.4	100.0	0.5
うち死亡事故(件)	3	6	3	6	1	0	0	1	6	1	17	24	3	4	3	0	1	79	4	0	83	0
構 成 率	3.6	7.2	3.6	7.2	1.2	0.0	0.0	1.2	7.2	1.2	20.5	28.9	3.6	4.8	3.6	0.0	1.2	95.2	4.8	0.0	100.0	0.0

注 うち無免許とは、第1当事者が原付以上であった人身事故又は死亡事故のうち、当該第1当事者が無免許であった事故をいう。

12

第1当事者の職業別

サービス業に従事する第1当事者による事故が、人身事故の約45%を占めている。

●家庭や職場などで交通ルールを守ることの大切さを話しましょう。



3000	2000	1000	人身事故 (件)	職業別	死亡事故 (件)	5	10	15	20
			54	子供	1				
			38	高校生	1				
			85	大学生	1				
			38	その他学生	0				
			288	職業運転者	14				
			154	公務員	0				
			53	農林業	0				
			12	漁業	1				
			7	鉱業	0				
			208	建設業	5				
			359	製造業	7				
			115	卸・小売業	4				
			46	金融保険業	0				
			10	不動産業	0				
			58	運輸・郵便業	0				
			5	通信業	1				
			33	電気・ガス・熱・水道業	0				
			0	学術研究	0				
			62	宿泊・飲食業	6				
			91	生活関連サービス	3				
			51	教育・学習支援業	2				
			256	医療・福祉	6				
			15	複合サービス業	0				
			2,355	その他サービス業	13				
			4	分類不能の産業	0				
			235	主婦	2				
			728	無職	16				
			0	外国人	0				
			81	その他	0				
			5,441	合計	83				

区 分	子 供	高 校 生	大 学 生	そ の 他 学 生	職 業 運 転 者	公 務 員	農 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	卸 ・ 小 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業	運 輸 ・ 郵 便 業
人身事故(件)	54	38	85	38	288	154	53	12	7	208	359	115	46	10	58
構成率	1.0	0.7	1.6	0.7	5.3	2.8	1.0	0.2	0.1	3.8	6.6	2.1	0.8	0.2	1.1
うち死亡事故(件)	1	1	1	0	14	0	0	1	0	5	7	4	0	0	0
構成率	1.2	1.2	1.2	0.0	16.9	0.0	0.0	1.2	0.0	6.0	8.4	4.8	0.0	0.0	0.0

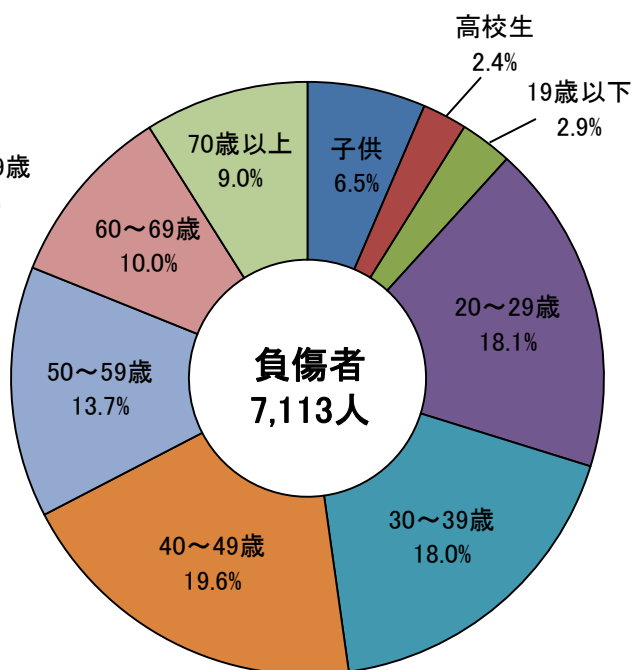
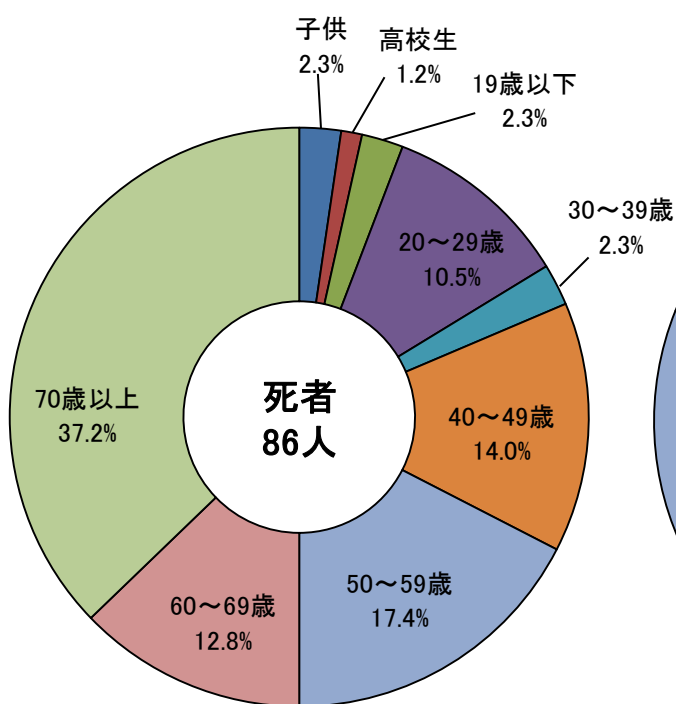
区 分	通 信 業	水 道 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 業	学 術 研 究	宿 泊 ・ 飲 食 業	サ ー ビ ス ・ 生 活 関 連	支 教 育 ・ 学 習 援 助	医 療 ・ 福 祉	複 合 サ ー ビ ス 業	そ の 他 サ ー ビ ス 業	分 類 不 能 の 産 業	主 婦	無 職	外 国 人	そ の 他	合 計
人身事故(件)	5	33	0	62	91	51	256	15	2,355	4	235	728	0	81	5,441	
構成率	0.1	0.6	0.0	1.1	1.7	0.9	4.7	0.3	43.3	0.1	4.3	13.4	0.0	1.5	100.0	
うち死亡事故(件)	1	0	0	6	3	2	6	0	13	0	2	16	0	0	83	
構成率	1.2	0.0	0.0	7.2	3.6	2.4	7.2	0.0	15.7	0.0	2.4	19.3	0.0	0.0	100.0	

13 死傷者の年齢層別

65歳以上の高齢者の死者が、全死者の43%を占めている。



●思いやりの気持ちを持って、ゆとりのある運転に努めましょう。



区 分	子 供	高 校 生	19 歳 以 下	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計
死 者 数	2	1	2	9	2	12	15	11	32	86
構 成 率	2.3	1.2	2.3	10.5	2.3	14.0	17.4	12.8	37.2	100.0
負 傷 者 数	459	173	203	1,285	1,278	1,395	975	708	637	7,113
構 成 率	6.5	2.4	2.9	18.1	18.0	19.6	13.7	10.0	9.0	100.0

再 掲	
若 年 者 (16歳～24歳)	高 齢 者 (65歳以上)
7	37
8.1	43.0
940	999
13.2	14.0

※子供は、中学生以下をいい、19歳以下は、子供と高校生を除いた少年をいう。

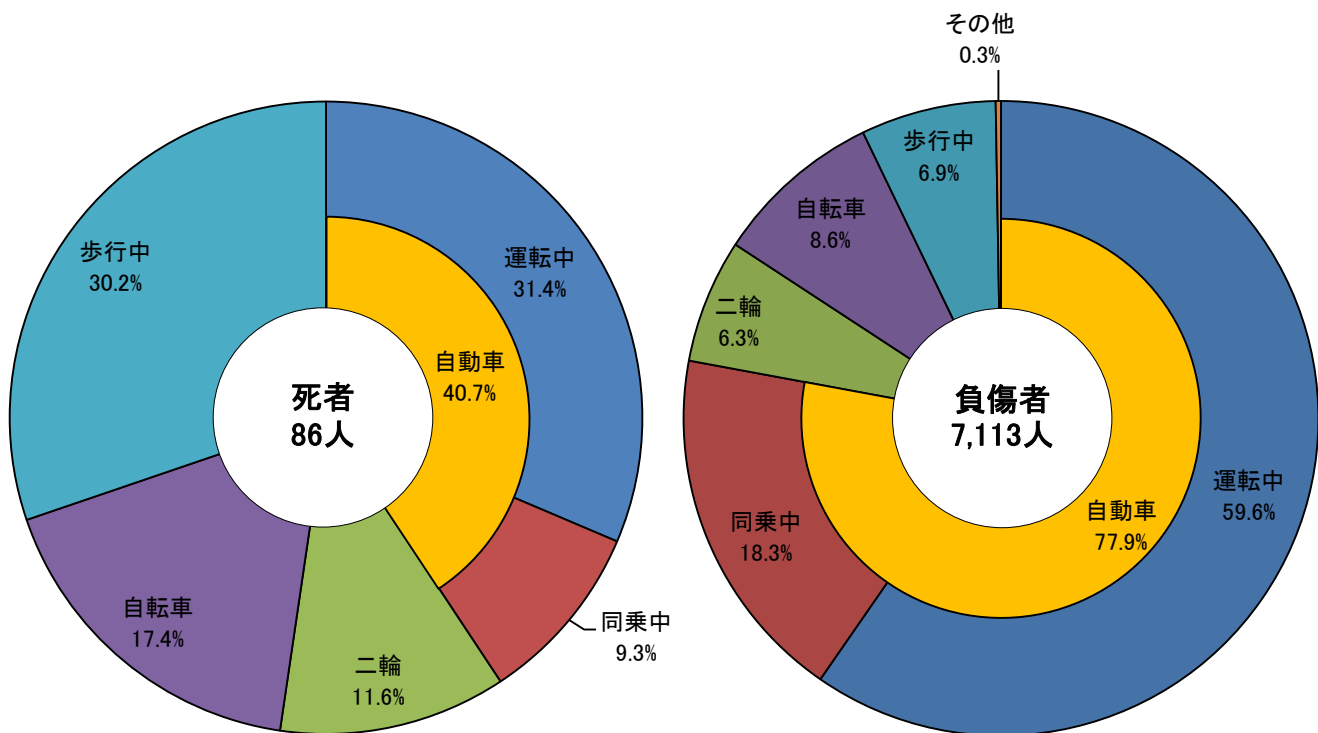
14

死傷者の状態別

自動車乗車中の負傷者が5,542人(約78%)で最も多い。

自転車乗用中、歩行中の死者が全死者の50%近くを占めている。

- 道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。



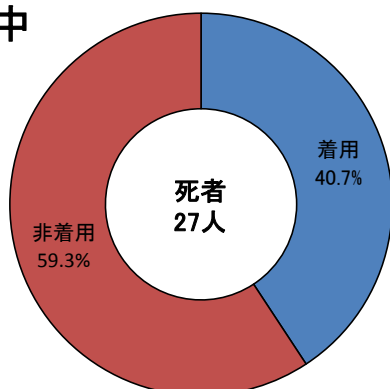
区 分	運 転 中				同 乗 中				歩 行 中	そ の 他	合 計
	自 動 車	二 輪	自 転 車	小 計	自 動 車	二 輪	自 転 車	小 計			
死 者 数	27	10	15	52	8	0	0	8	26	0	86
構 成 率	31.4	11.6	17.4	60.5	9.3	0.0	0.0	9.3	30.2	0.0	100.0
負 傷 者 数	4,242	440	613	5,295	1,300	9	0	1,309	490	19	7,113
構 成 率	59.6	6.2	8.6	74.4	18.3	0.1	0.0	18.4	6.9	0.3	100.0

死者の着用率は約43%であり、負傷者の着用率（約96%）と比べ低い。

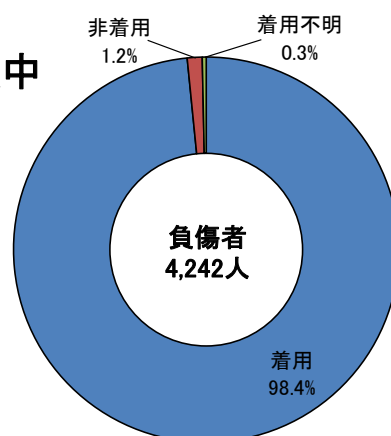
- シートベルト非着用死者20人中10人（50%）が、シートベルトを着用していれば助かったと推定されます。
- 後部座席を含め、自動車に乗車するときはシートベルトを確実に着用しましょう。



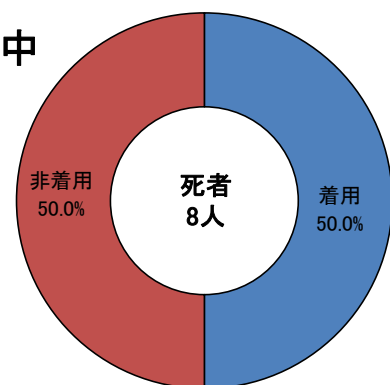
運転中



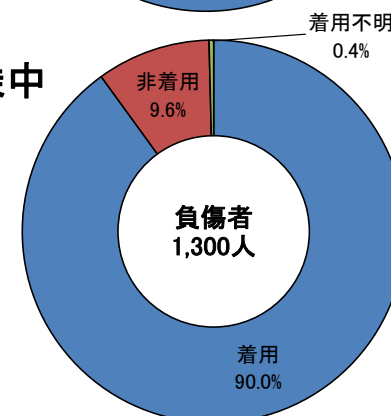
運転中



同乗中



同乗中



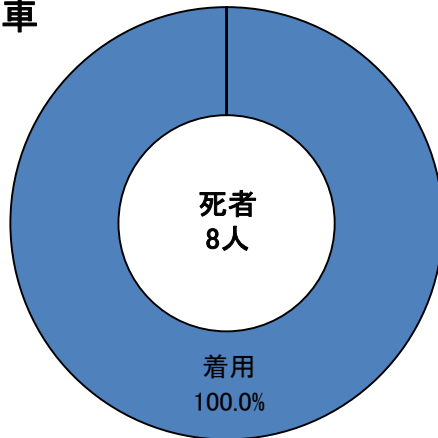
区 分		自 動 車														特殊車		合 計		
		大型車		中型車		準中型		普通車		軽自動車		ミニカー		小計		運転	同乗	運転	同乗	計
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗					
死 者 数	着 用	0	0	2	0	1	0	5	2	3	2	0	0	11	4	0	0	11	4	15
	着用率%	0.0	-	100.0	-	33.3	-	55.6	50.0	25.0	50.0	-	-	40.7	50.0	-	-	40.7	50.0	42.9
	非 着 用	1	0	0	0	2	0	4	2	9	2	0	0	16	4	0	0	16	4	20
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	2	0	3	0	9	4	12	4	0	0	27	8	0	0	27	8	35
負 傷 者 数	着 用	43	0	52	11	30	4	2,212	732	1,838	423	0	0	4,175	1,170	0	0	4,175	1,170	5,345
	着用率%	91.5	0.0	94.5	91.7	96.8	80.0	99.1	89.9	98.0	90.6	-	-	98.4	90.0	0.0	-	98.4	90.0	96.4
	非 着 用	4	2	2	0	1	1	17	78	28	44	0	0	52	125	1	0	53	125	178
	着用不明	0	0	1	1	0	0	4	4	9	0	0	0	14	5	0	0	14	5	19
	計	47	2	55	12	31	5	2,233	814	1,875	467	0	0	4,241	1,300	1	0	4,242	1,300	5,542

死傷者の約2%がヘルメットを着用していない。

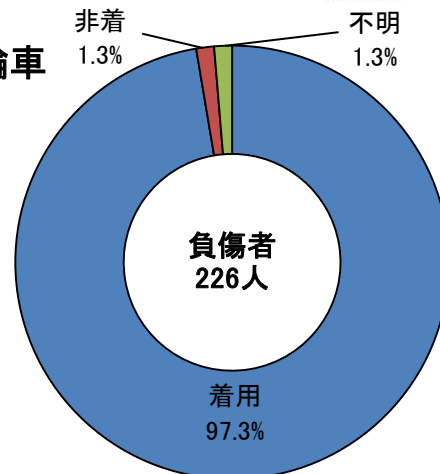
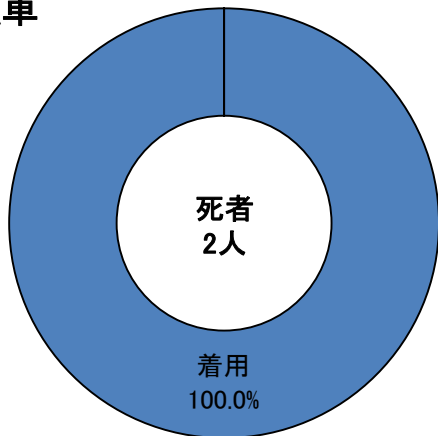
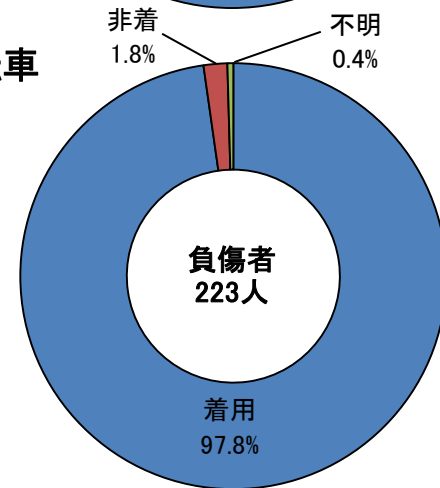
●ヘルメットは、あなたの命を守ります。
正しく着用しましょう。



自動二輪車



自動二輪車

原付自転車
(50cc)原付自転車
(50cc)

区 分		自 動 二 輪												原付自転車		合 計		
		小型二輪						軽二輪		原付二種		小 計						
		751cc以上		401～750cc		251～400cc		126～250cc		51～125cc								
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死 者 数	着 用	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	8	0	2	0	10	0	10
	着用率%	100.0	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	100.0	—	100.0	—	100.0
	非 着 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	8	0	2	0	10	0	10
負 傷 者 数	着 用	50	1	13	0	26	1	61	5	63	0	213	7	218	0	431	7	438
	着用率%	100.0	100.0	92.9	—	96.3	50.0	96.8	100.0	98.4	—	97.7	87.5	98.2	0.0	98.0	77.8	97.6
	非 着 用	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	0	3	1	6	1	7
	着用不明	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	1	1	0	3	1	4
	計	50	1	14	0	27	2	63	5	64	0	218	8	222	1	440	9	449

第 4

各種の交通事故

1

子供の交通事故

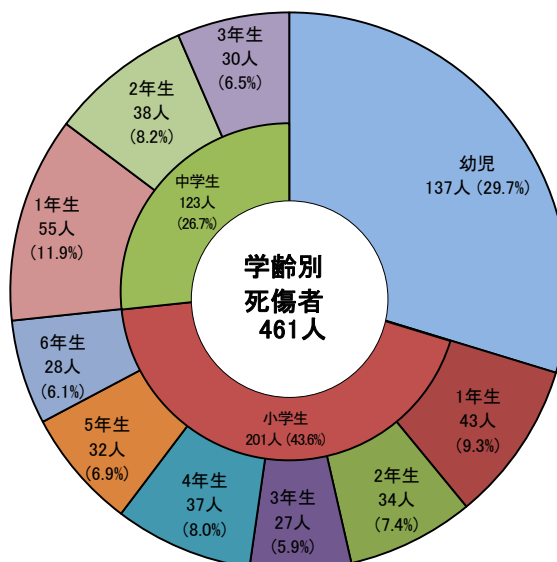
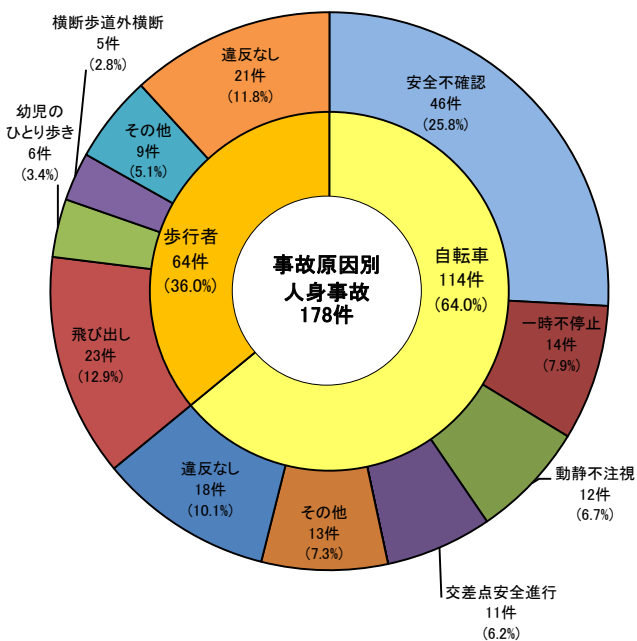
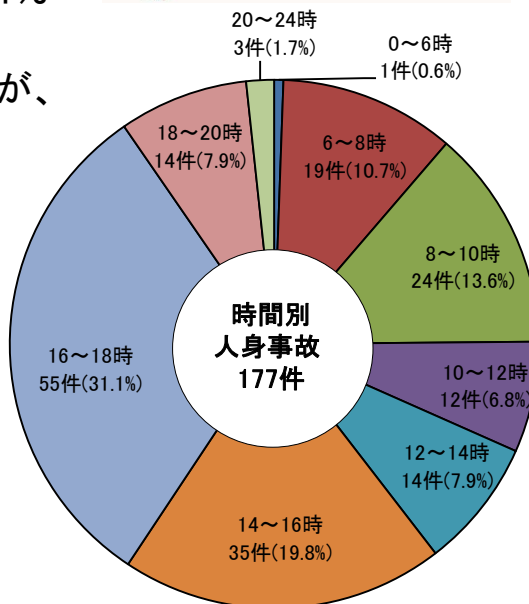
(幼児、小・中学生が関与した事故)

小学生の死傷者が子供の死傷者の約44%を占めている。

事故原因別では、自転車は安全不確認が、歩行者は飛び出しが目立っている。



- 道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しましょう。



※子供同士の自転車と歩行者の事故、1件重複計上

※死者の内訳は、自転車乗用中の小学生2人

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	510	459	432	369	365	354	273	215	181	177
死 者 数	5	3	3	2	3	2	3	1	2	2
負傷者数	1,070	1,038	997	859	870	834	661	599	588	459
死 傷 者 率	6.8	6.8	6.7	6.2	6.5	6.4	6.1	6.2	7.1	6.4

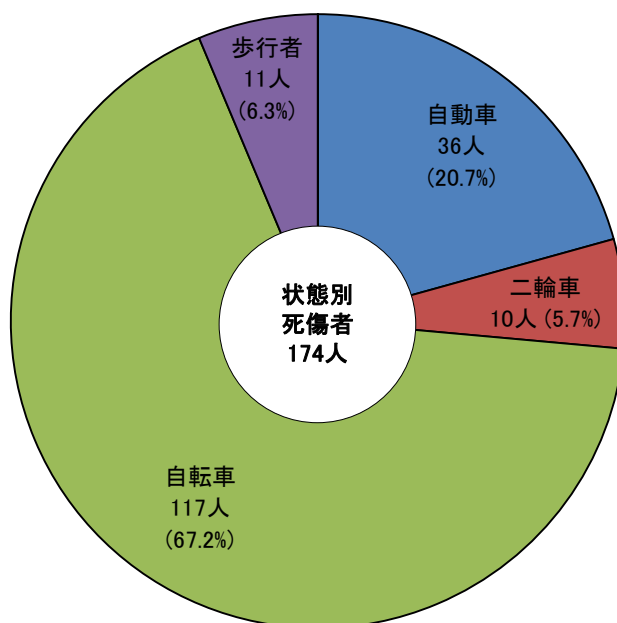
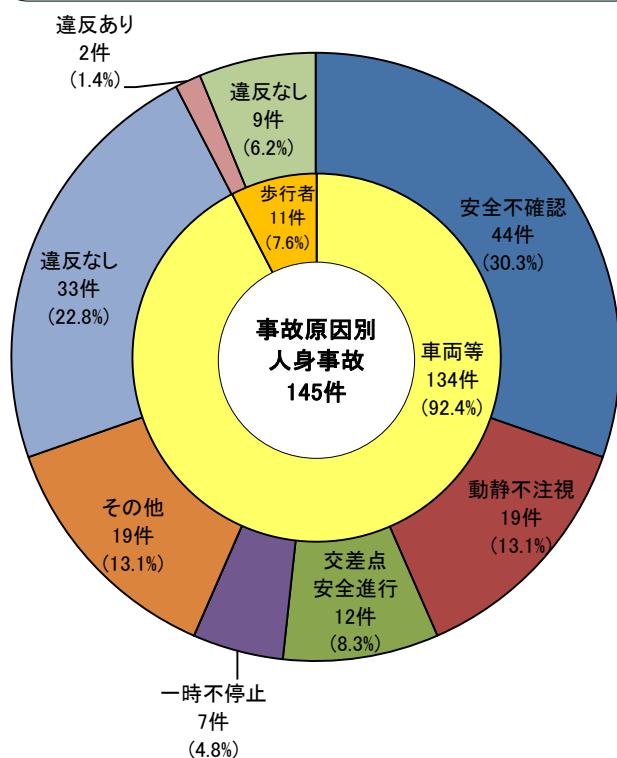
2 高校生の交通事故

自転車乗用中の死傷者が、高校生の死傷者の約67%を占めている。

車両等の事故原因別では、安全不確認や動静不注視が目立っている。



- 自転車乗用中の携帯電話・スマートフォン等の使用はやめましょう。
- ヘッドホン等で音楽を聴きながらの運転はやめましょう



※高校生同士の自転車の事故1件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は13件、自転車による事故は121件

※死者の内訳は、二輪車乗車中1人

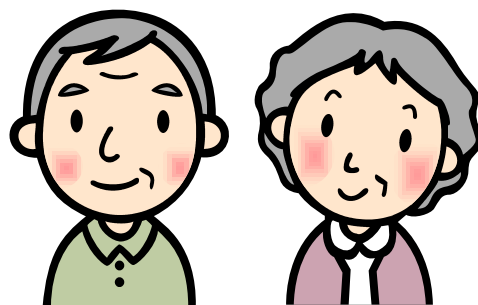
区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	347	307	278	261	255	244	211	168	141	144
死者数	0	0	2	1	2	2	1	0	0	1
負傷者数	442	374	369	341	350	313	270	227	210	173
死傷者率	2.8	2.5	2.5	2.5	2.6	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4

3 高齢者の交通事故

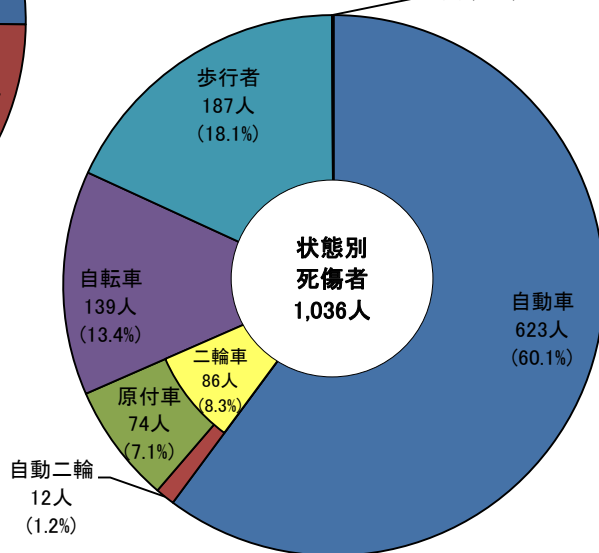
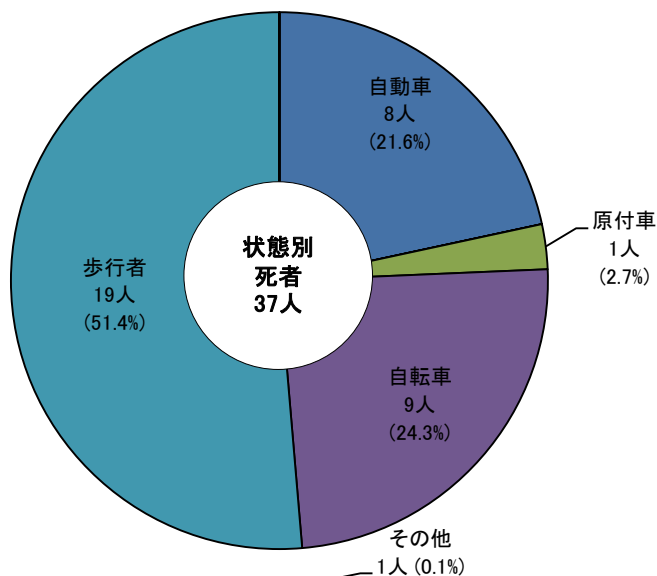
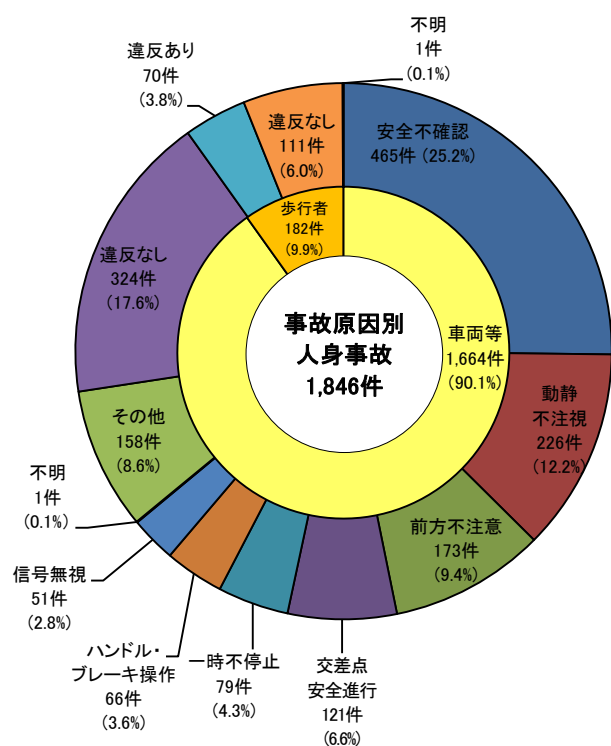
(年齢65歳以上の人に関与した事故)

(1) 全体

状態別死者では、歩行者・自転車乗用中が約76%を占めている。



●体調、天候などは日々、変化するものです。自身の身体機能に合わせ、その時々状況に応じた慎重な交通行動をとりましょう。



※高齢者同士の事故208件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は1,523件、自転車による事故は141件

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	2,907	2,993	2,867	2,633	2,731	2,767	2,330	2,151	1,843	1,638
死者数	56	65	71	53	48	49	57	52	52	37
負傷者数	2,169	2,236	2,126	1,862	1,922	1,892	1,647	1,448	1,224	999
死傷者率	14.2	15.1	14.6	13.8	14.7	15.0	15.7	15.6	15.5	14.4

(2)高齢運転者

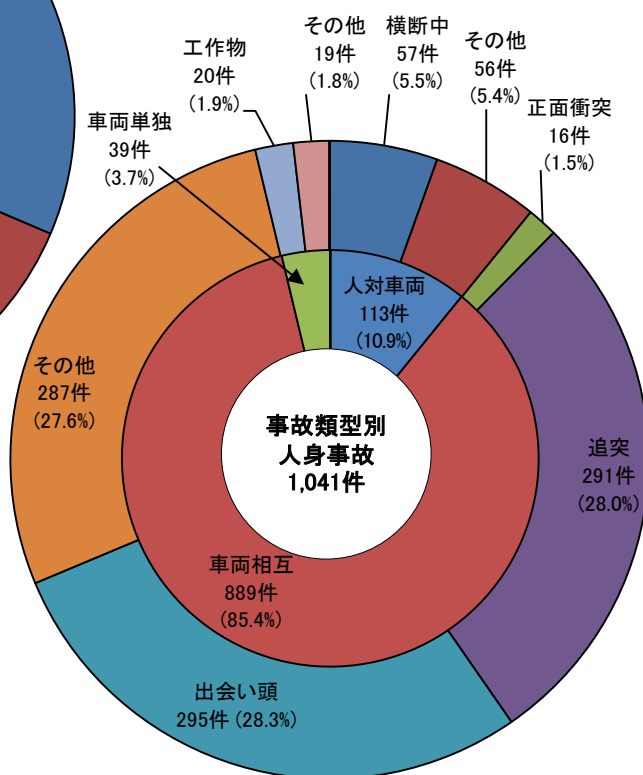
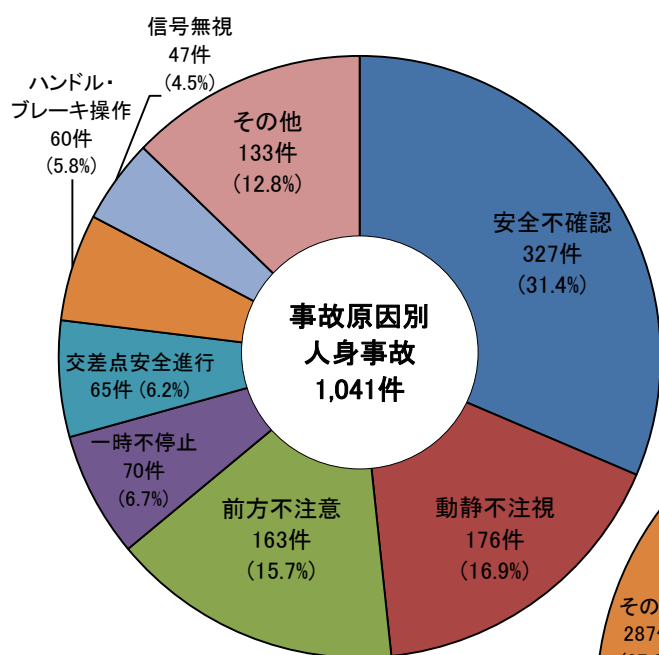
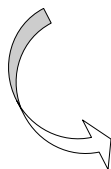
(年齢65歳以上で原付以上の運転者が第1当事者になった事故)

人身事故の5件に1件が、死亡事故の7件に1件が高齢運転者による事故です。

- 運転中は、常に周囲の状況に注意を払い、安全運転を心掛けましょう。
- 高齢運転者標識を付けた自動車への幅寄せや割り込みはやめましょう。



運転に不安を感じたら、免許証の自主返納も1つの方法です。



区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	1,732	1,777	1,673	1,618	1,642	1,702	1,416	1,331	1,136	1,041
構成率	15.3	16.4	15.5	16.1	16.9	18.1	18.3	19.4	19.8	20.1
うち死亡事故(件)	21	23	30	20	28	20	20	28	24	10
構成率	20.4	22.5	25.0	25.3	31.5	25.0	22.5	37.8	27.9	14.1

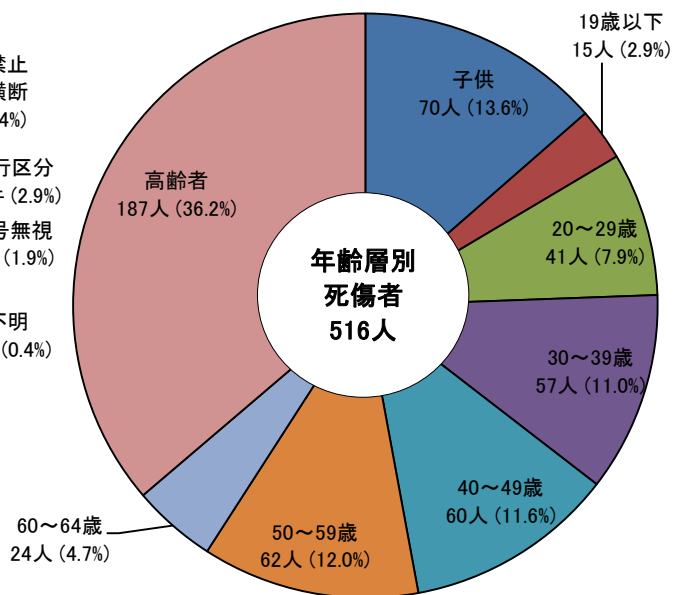
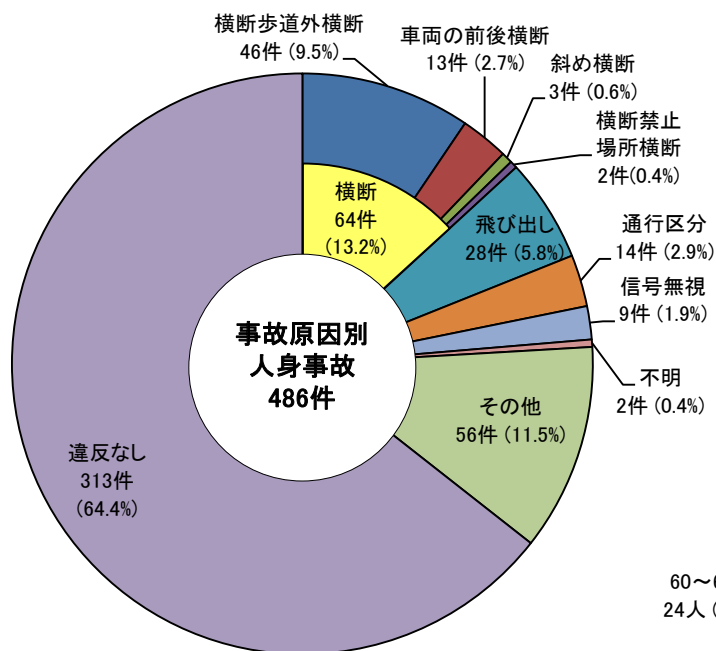
※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める高齢運転者による事故の割合

4 歩行者の交通事故

原因別では、横断違反(64件)と飛び出し(28件)が目立っている。

年齢層別では、高齢者の死傷者が約36%を占めている。

- 道路を横断するときは、横断歩道を利用しましょう。
- 車のかげからの飛び出しは、危険ですから絶対にやめましょう。
- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装で反射材用品等を身に着けましょう。



※ 死者26人の内訳は、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳4人、60～64歳1人、高齢者19人である。

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	788	739	729	677	665	731	592	552	479	486
死 者 数	34	39	37	28	31	33	36	28	37	26
負傷者数	805	731	719	693	660	733	578	549	467	490
死 傷 者 率	5.3	5.1	5.0	5.2	5.2	5.9	5.7	6.0	6.1	7.2

5

自転車の交通事故

事故原因別では、安全不確認、動静不注視で全体の約47%を占めている。

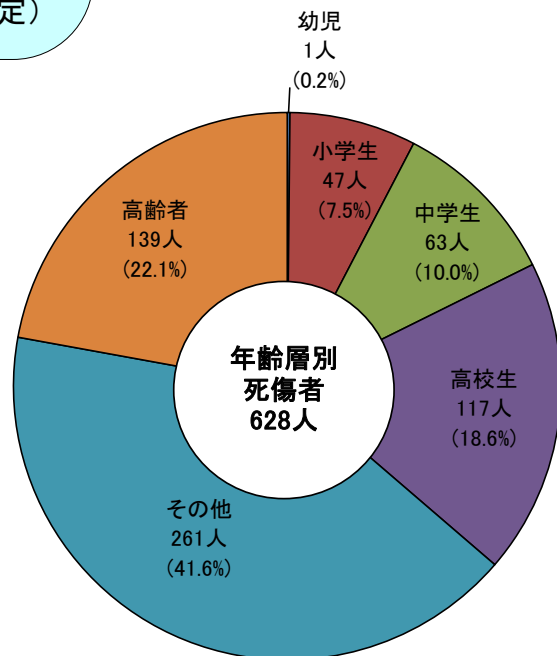
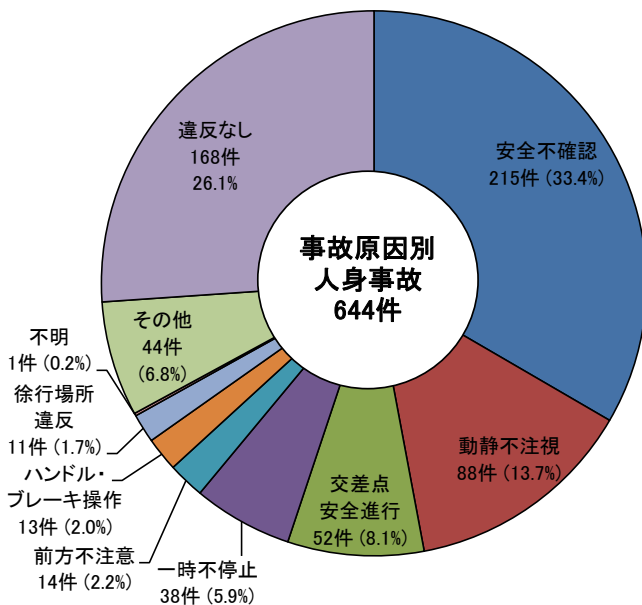
年齢層別では、高校生以下の死傷者が約36%を占めている。



自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

(平成19年7月10日交通対策本部決定)



※自転車同士の事故9件を重複計上

※ 死者15人の内訳は、小学生2人、その他4人、高齢者9人である。

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	1,590	1,512	1,415	1,224	1,235	1,150	954	750	633	635
死者数	16	13	16	17	8	8	18	12	12	15
負傷者数	1,580	1,510	1,419	1,217	1,238	1,143	939	737	621	613
死傷者率	10.2	10.0	9.6	8.9	9.3	8.9	8.8	7.8	7.7	8.7

6

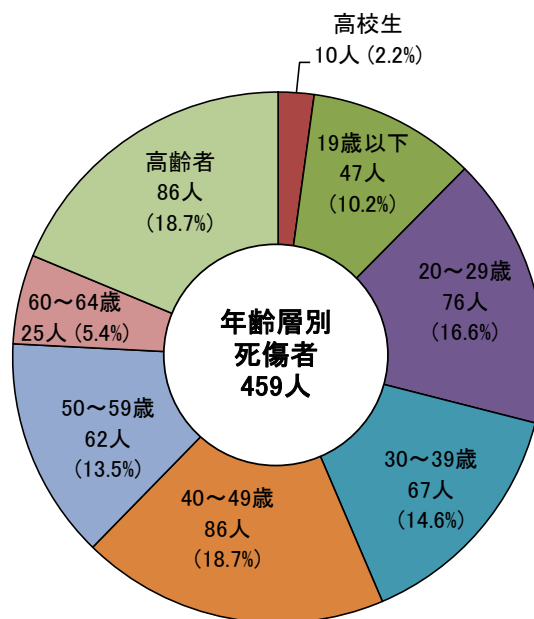
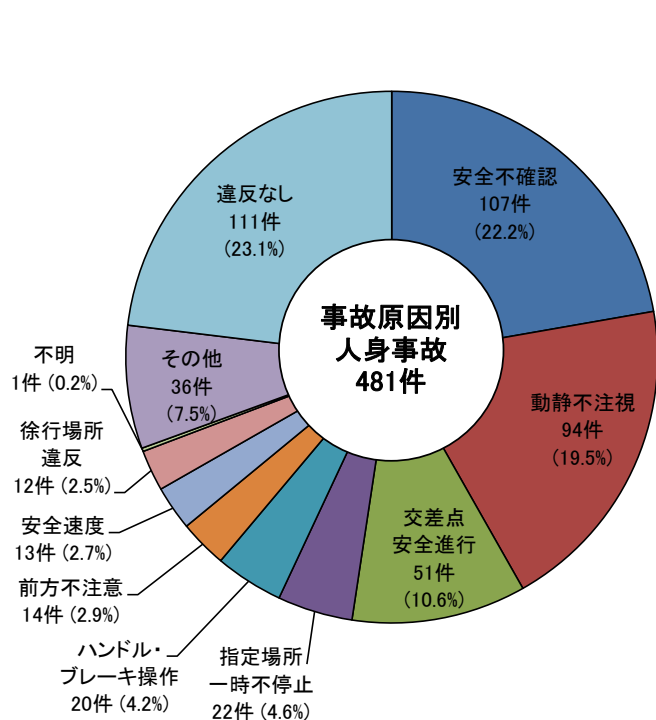
二輪車の交通事故

事故原因別では、安全不確認と動静不注視で全体の約42%を占めている。

年齢層別では、高齢者の死傷者が、約19%を占めている。



- 一時停止の交通規制が実施されているところでは、必ず一時停止して、左右の安全を確認しましょう。
- 二輪車を運転するときは、正しい乗車姿勢を保ち、ヘルメットを正しく着用するとともに、プロテクターを着用しましょう。



※ 二輪車同士の事故4件を重複計上
※ 無免許は4件

※ 死者10人の内訳は、高校生1人、20～29歳2人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳3人、60～64歳1人、高齢者1人である。

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	1,543	1,379	1,349	1,168	1,076	1,005	829	687	629	477
死者数	23	16	17	14	22	14	20	15	17	10
負傷者数	1,480	1,319	1,288	1,111	1,015	950	777	655	594	449
死傷者率	9.6	8.8	8.7	8.1	7.7	7.4	7.4	7.0	7.4	6.4

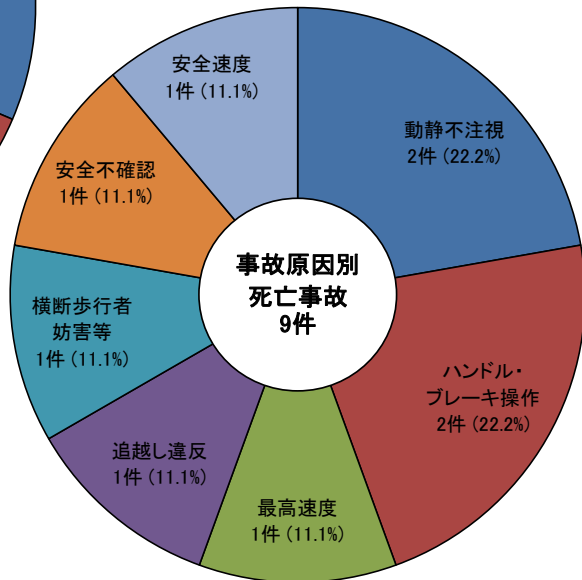
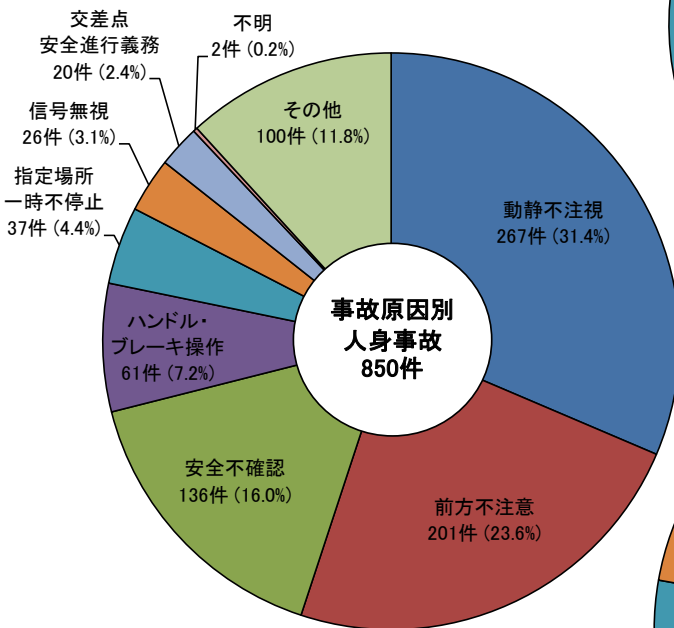
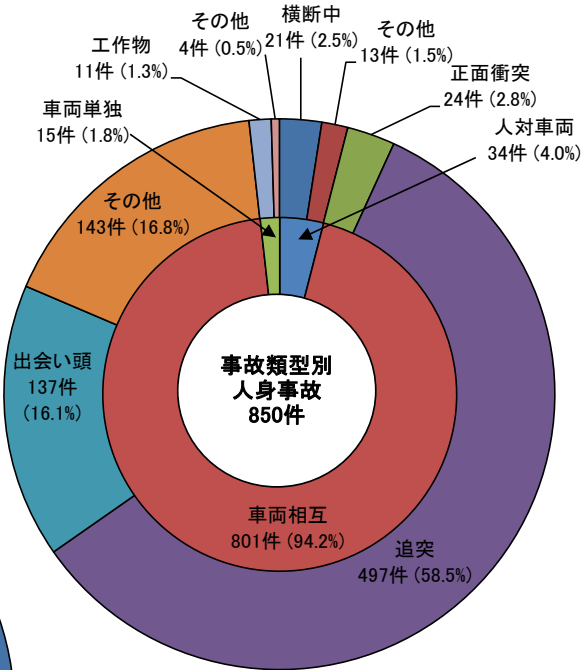
7

若年運転者の交通事故

(年齢16～24歳の原付以上の運転者が第1当事者となった事故)

人身事故の事故類型別では、追突が約58%を占め、事故原因別では、動静不注視、前方不注意、安全不確認で全体の約71%を占めている。

- 速度が速いほど、停止距離が長く、衝突時の衝撃が大きくなります。安全な速度で運転しましょう。
- 交通ルールを遵守して、常に周囲の状況に注意を払いましょう。



区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	2,071	1,929	1,899	1,719	1,669	1,563	1,294	1,155	977	850
構成率	18.3	17.8	17.6	17.2	17.2	16.7	16.7	16.9	17.0	16.4
うち死亡事故(件)	7	16	7	7	12	7	11	6	9	9
構成率	6.8	15.7	5.8	8.9	13.5	8.8	12.4	8.1	10.5	12.7

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める若年運転者による事故の割合

8

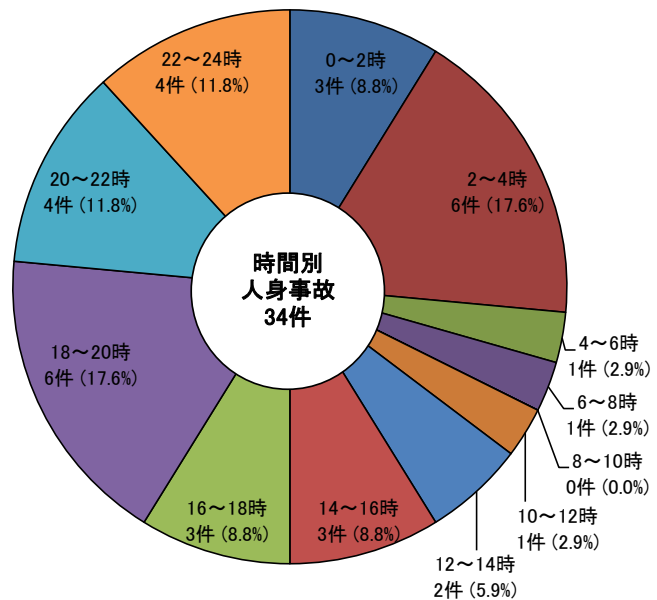
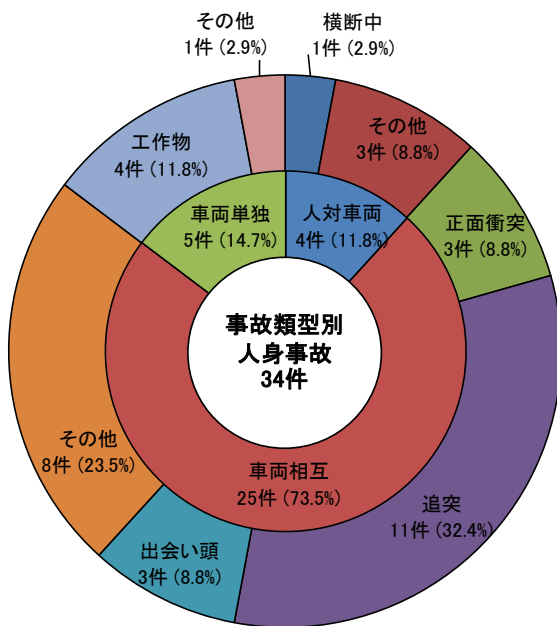
飲酒運転の交通事故

(原付以上の運転者が、飲酒運転をして第1当事者となった事故)

飲酒運転の人身事故は18時から4時までの10時間に約68%発生している。



- アルコールの影響で適切な判断や運転操作ができず、事故を引き起こす危険性が高くなります。
- 一人一人が、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」「許さない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。



※死亡事故の内訳は、人対車両1件、車両相互1件、車両単独3件である。

※死亡事故は、4～6時に1件、18～20時に1件、20～22時に1件、22～24時に2件発生している。

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
人身事故(件)	101	95	91	66	73	63	55	44	36	34
構成率	0.9	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7
うち死亡事故(件)	10	7	6	6	4	3	9	1	1	5
構成率	9.7	6.9	5.0	7.6	4.5	3.8	10.1	1.4	1.2	7.0

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める飲酒運転者による事故の割合

■車両の事故原因

- ◇信号無視信号機の設けられている交差点で、赤又は黄色信号等を見逃して交差点に進入して事故を起こした場合等をいう。
- ◇通行区分センターラインを超えて、対向車線に進入して対向車と正面衝突した場合等をいう。
- ◇追い越し追い越し禁止場所や無理な追い越しをして、対向車等と衝突した場合をいう。
- ◇最高速度法定(指定)速度を超えて走行したため、歩行者の発見が遅れて衝突したり、カーブ路を曲がれなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇歩行者妨害等横断歩道を横断中の歩行者や自転車横断帯を横断中の自転車の発見が遅れたために衝突した場合等をいう。
- ◇一時不停止一時停止の標識・道路標示のある交差点で、一時停止することなく、交差点に進入したために交差道路から走行してきた車両と衝突した場合等をいう。
- ◇酒酔い飲酒により正常な運転ができない状態で、車両を運転したために事故を起こした場合をいう。
- ◇右・左折右・左折禁止場所で右・左折をしたために事故を起こしたり、原付の二段階右折をしなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇優先通行妨害交差点で右折する時に直進車両と衝突したり、明らかに優先道路を走行している車両と衝突した場合等をいう。
- ◇交差点安全進行交差点で、交差道路から走行してきた車両に特に注意しなかったために衝突したり、反対方向からの右折車両に特に注意しなかったために衝突した場合等をいう。
- ◇徐行場所左右の見とおしの悪い交差点や急な道路の曲がりかど付近等で減速徐行しなかったために交差道路から走行してきた車両や対向車と衝突した場合等をいう。
- ◇ハンドル・ブレーキ操作 ... カーブ路等で急ハンドルを切ったためにガードレールに衝突したり、急ブレーキを踏んだためにスリップして前車に追突した場合等をいう。
- ◇前方不注意考え事やぼんやりしていたり、脇見をしていたために前を良く見ていなかったために停止した前車に気づくのが遅れ追突した場合をいう。
- ◇動静不注視相手(車両・歩行者)の動きを良く見ていなかったために、相手の動きに対応できずに衝突した場合等をいう。
- ◇安全不確認前方・左右・後方に対する安全確認を怠ったために衝突した場合等をいう。
- ◇安全速度カーブ路等で道路状況・環境に応じた速度で走行しなかったために路外へ逸脱したり、飛び出した歩行者と衝突した場合等をいう。

■歩行者の事故原因

- ◇飛び出し安全を確認しないで路上に飛び出したために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇車両の前後横断駐車車両の直前・直後から横断したり、走行車両の直前・直後から横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断歩道外横断横断歩道が付近にある場所で横断歩道を利用せずに横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断禁止場所横断道路標識又は道路標示により横断が禁止されている道路で横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇幼児のひとり歩き児童等(13歳未満)が保護者を伴わずに一人歩きをしていたために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇めいてい・はいかい道路において、酒に酔ってふらついていたり、寝そべり等の交通妨害をしていたために車両等と衝突した場合をいう。

交通安全 年間スローガン 平成30年

※内閣総理大臣賞〈最優秀作〉を掲載

★運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの★

ぶつかるよ ながら運転 じこのもと

★歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの★

行けるはず まだ渡れるは もう危険

★中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの★

自転車は 車といっしょ 左側

思いやる やさしい心で 走る三重

～ 気持ち良い 運転マナーの ^{うま} 美し国 ～